

住宅医スクール 2025 特別講義 <第 1 回>
『事例から学ぶ！ 被災建築物の改修～復興の取組（能登・熊本）』

量から質へ。既存住宅に関する知識や技術が求められる時代です。既存住宅の調査・診断から改修設計・施工・維持管理等ができる「住宅医」を育成するため、今年も住宅医スクール 2025（第 16 期）を開催しています。

住宅医スクールの一環として開催している今年の「特別講義」第 1 回は、地震などで被災した建築物の改修や復興をテーマに、達人塾による現在進行形の能登半島地震の被災住宅補強事例、及び熊本の住宅医による熊本地震の時の改修事例や復興の取組をご紹介します。引き続き対応が求められる能登半島地震の復興や、今後の災害による被災建築物の改修や復興について、具体的な事例から学びます。

日 時 2025 年 8 月 27 日（水） 14：00～17：00（※受付 13：45～）
方 法 ZOOM を用いたオンライン講習会
主 催 一般社団法人 住宅医協会
後 援 特定非営利活動法人 達人塾ねっと

<当日プログラム>

13：45～14：00 受付（ZOOM 接続）

14：00	【開会】 ・概要説明など（※司会進行：村上洋子／住宅医協会理事）
14：10	【①能登半島地震で被災した住宅の補修・補強の現場から】（60 分程度） 花井勉 （株）えびす建築研究所 代表取締役
15：10	【②熊本地震で被災した建築物の対応事例・復興の取組】 （②-1 住宅医 工務店の取組事例）（30 分程度） 宮木寛信 エコワークス（株）熊本オフィス （②-2 住宅医 設計事務所の取組事例）（30 分程度） 堺武治 堺武治建築事務所 代表
16：10	<※小休憩>
16：20	【質疑応答・意見交換会】（40 分程度）
17：00	【閉会】

＜講師紹介＞

はない つとむ
花井 勉

(株)えびす建築研究所 代表取締役

1982 年名古屋工業大学建築学科卒業、同年建築設計事務所：(株)日本システム設計入社。構造設計・構造システム開発に従事。1999 年に戸建て免震システムの大臣認定第 1 号取得に貢献し、その後国土交通省の免震告示の作成に協力。2004 年度より名古屋大学と協働して耐震啓発模型教材“ぶるる”の開発を行い、市民向け、専門家向け講習や、講習用ビデオ作成にも携わる。2007 年に建築の構造・工法コンサルタント会社(株)えびす建築研究所を設立。ハウスメーカー、建材メーカーの開発協力を行う。工学博士、構造設計一級建築士。

みやき ひろのぶ
宮木 寛信

エコワークス株式会社 熊本オフィス

学歴：1985 年 熊本大学 環境建設工学科 卒業

職歴：2004 年 4 月～ エコワークス株式会社（創業スタッフ）

2009 年 11 月 JBN主催 建防協「木造住宅の耐震診断と補強方法」研修を受講

2013 年 6 月 初めて「一般耐震診断、改修計画、改修工事」を経験

以降～ 現在まで耐震診断100棟以上、改修計画・改修工事70棟以上を实践

資格：構造設計一級建築士 信条：商業界「商売十訓」 ― 損得より先に善悪を考えよう

さかい たけはる
堺 武治

堺武治建築事務所 堺武治

1968 年 熊本県生まれ。大学卒業後、地元のSDA建築設計事務所に 6 年勤務し、建築のイロハを学ぶ。その後 30 才で独立して、現在の事務所を設立。注文住宅の設計監理を中心にしつつ、公共工事や施設系の設計も行っている。熊本地震の少し前に、熊本の若手設計者の育成と設計業界の盛り上げを目的に、地元の建築家 10 名と「Kulos (kumamoto local architects square)」というチームを立ち上げる。その後、熊本地震が発災。このチームで応急仮設住宅内の「みんなの家」や買取型災害公営住宅の設計監理に携わる。現在は、地震で被災し閉業した温泉施設の復興に携わっている。一級建築士。元熊本県建築士会青年部会長。